



日本数学オリンピック (JMO) 予選

1月13日(月)、総合自然科学コース2年生の生徒4人が、灘中学校・高等学校で行われた日本数学オリンピック(JMO)予選に参加しました。

試験内容は、3時間で12問の解答のみを記す筆記試験で、成績順にAランク、Bランク、Cランクにランク付けされ、Aランクの者は本選に出場できると同時に、ホームページに名前・学校名・学年等が掲載され、表彰されます。

<生徒感想 1>

普段見たことのないような問題が出題され、違う視点で解く必要があり、新鮮でした。また灘高校で受験したため、いつもとは違う緊張した空気を味わうことができました。良い刺激を受けることができ、楽しいものとなりました。

<生徒感想 2>

2年連続で受けましたが、去年は手も足も出ませんでした。今年は少しはできるかなと思いましたが、できた問

題を計算ミスで落としたのが悔しかったです。



小高連携いきいき授業

総合自然科学コース2年生の生徒が1月21日(火)に、たつの市立揖西小学校とたつの市立室津小学校に出向いて小高連携いきいき授業を行いました。

生徒は2つのグループに分かれて、揖西小学校の6年生、室津小学校の5・6年生にプラネタリウム製作の授業をしました。

はじめにクイズを交えて冬の星座に関する授業を行いました。小学生たちはいきいきと発表をして盛り上がりました。続いて、代表生徒がピ

ンホール式プラネタリウム工作の説明をしました。

その後、小学生2~3人ごとの班に本校生徒が1人ずつ付き添ってプラネタリウムを製作しました。

完成後、部屋を暗くして点灯式を行いました。天井や壁・机には多くの冬の星々が映し出され、歓声が上がりました。



小学生たちは、少し難しかったものの、プラネタリウムを作り上げることができました。本校生徒は、教えることの大変さや大切さを学び、科学への取り組み方を深められる貴重な機会を得ることができました。揖西小学校と室津小学校の皆さん、ありがとうございました。